

JR西労組 岡山地方本部

「安全の確立」を最優先に、 運動を継承し、全力で取り組む！

昨年中はJR西労組岡山地本の取り組みに対し、ご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

昨年を振り返ってみますと、安全問題について、岡山地本管内では、一昨年に引き続き重大労災が発生し、残念ながら一歩間違えればという事象も後を絶ちません。岡山地本として、悲惨な事故を起こさせない決意を新たに、「(A)当たり前のことを(B)バカにせず(C)ちゃんとする」というABC運動が全ての職場に浸透するために取り組んでいく決意です。

また、昨年十一月十八日には、我々が求めていた一時金について、会社はシニア社員を含めた社員に一律十二万円、契約社員に六万円を支給することとなりましたが、これは、私たちJR西日本グループで働く組合員全員が一丸となって福知山線列車事故の反省と教訓を胸に刻み、災害時や酷暑下においても昼夜を問わず日々の業務に不断に取り組んできたことや、組織構造改革や経費削減の取り組み、岡山エリアでは、新型やくもを始めとした新型車両投入や、森の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭など、各種イベントの成功に向けて取り組んできた成果です。

第2四半期の連結・単体決算は、五期連続の増収増益となっており、通期業績予想も上方修正し、アップデートされた「中期経営計画二〇二五」で掲げた二〇二七年度の財務目標を今年度中に達成する見込みとなっています。今次春闘は、昨年に引き続き、「人財への投資」を実現するため、岡山地方本部に結集する全組合員が一丸となって取り組む決意です。

コロナ禍以降の社会変容は、依然、私たちの働く環境を大きく変化させ、各系統において様々な施策が早いスピードで実施されています。私たちも労働組合として、大きな変革が求められる中で、チェックや検証なく施策が進む危険性も想定されることから、引き続き、安全問題を最優先に組合員の生活環境・労働環境の変化への対応など現場で働く者の視点でしっかりと議論してまいりたいと考えています。

その他、課題は山積していますが、組合員とご家族の負託に応えるべく、執行部一同さらなる運動の前進に向け全力で取り組む決意を申し上げると共に、引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。



謹賀新年

岡山地方本部 執行委員長

堂屋敷 光

執行委員長

堂屋敷 光

書記

仲畠 裕章

執行委員

中田美由紀

執行委員

杭谷 稔将

執行委員

岡野 圭祐

執行委員

山本 聡子

執行委員

三原 睦子

執行委員

井上 貴正

執行委員

内海 有夏

執行委員

小野 順平

執行委員

日笠 暢之

執行委員

豊岡 幸志

執行委員

上山 博伸

執行委員

原崎 哲之

執行委員

小橋 りえ

執行委員

森下 吉行

執行委員

山本 正輝

執行委員

田上 勝基

執行委員

寺岡 大介

執行委員

新山 裕太

執行委員

清水 修

執行委員

鈴木千恵子

執行委員

幡司かおり

執行委員

福田 香